

平成30年度 学校評価（自己評価）

* 教員による自己評価結果

評価 ④：そう思う ③：おおむねそう思う ②：あまり思わない ①：思わない

分野・領域	番号	評価の観点	評価結果		
			H30	H29	H28
教育目標 重点目標	1	「学校教育目標」は教育活動全体の指標として適切である。	3.9	3.7	3.5
	2	「重点目標」は当面する学校課題の解決を図る指標となっている。	3.8	3.4	3.8
	3	「重点目標」は分掌や学年及び教科の計画に活かされ具現化が図られている。	3.6	3.4	3.3
重点目標	(1)本校生徒に必要な資質・能力を明確にし、基礎的・基本的な知識や技能及び課題解決に必要な思考力、判断力、表現力を育成するとともに、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。 (2)公共の精神や社会規範及び自他の生命を尊重する意識と態度を持ち、自ら正しく判断して行動できる生徒を育てる。 (3)自己の適性を理解するとともに、将来の進路設計を明確に持ち、未来を切り拓く向上心あふれる生徒を育てる。 (4)特別活動や部活動を通して、よりよい人間関係や社会性育成するとともに、心豊かにたくましく活動する生徒を育てる。				
教務 学習指導 教育課程 研修	4	生徒の自己評価、学校生活アンケート等において、「朝学習」の取組等に関する肯定的な回答が70%以上となるよう指導している。	3.2	3.0	3.3
	5	生徒の自己評価、学校生活アンケート等において、家庭学習に関して「取り組んでいる」「概ね取り組んでいる」等の肯定的な回答が60%以上となるよう指導している。	3.0	2.8	2.8
	6	課題解決に必要な思考力、判断力、表現力を持ち、主体的に学習に取り組む姿勢を育てている。	3.1	3.0	2.7
	7	生徒の実態と進路の希望に則した教育課程の編成及び運営に努めている。	3.2	3.6	3.1
	8	授業研究並びに校内研修を推進し、教員間の情報共有を図ることで、業務の円滑な遂行を図っている。	3.1	3.2	3.1
生徒指導 教育相談 健康安全 生徒会活動	9	生徒の朝の遅刻について、平成29年度より1人あたり20%以上の減少を目指し、指導している。	3.2	2.8	3.2
	10	特別活動や部活動への参加を通してよりよい人間関係を形成し、心豊かにたくましく活動する生徒を育てよう努めている。	3.1	2.6	3.1
	11	いじめアンケート等において、「いじめはどんな理由があっても許されないことだと思えますか」について、「そう思う」と回答する生徒の割合が100%となるよう指導している。	3.2	3.1	3.5
	12	自己の健康状態を把握し、心身の健康は自分で守り育てるという意識の向上を図る。また、校舎内外の美化活動に積極的に参加する態度を育成している。	3.0	3.1	2.8
	13	生徒会活動の自主的、民主的な運営と活動を通して生徒の自治意識を高めるよう努めている。	3.2	3.2	3.1
進路指導 資格取得	14	自己理解の深化と望ましい職業観を育成するために必要な行事・事業を計画し実施している。	3.6	3.3	3.2
	15	就職を希望する生徒の進路実現について、年度内の内定率100%を目標とし、指導している。	3.9	3.8	4.0
	16	様々な手段を講じて進路情報を収集し、職員・生徒へ情報の公開を行っている。	3.1	3.3	3.0
	17	生徒の資格・検定取得等の取組について、受験率100%を目指し、指導している。	3.3	3.0	3.0
学 年 級	18	クラス内の好ましい人間関係や他を思いやる心を育む適切な指導を行っている。	3.4	3.2	3.2
	19	学習、行事、課外活動等への積極的な取組を促している。	3.6	3.1	3.2
施設・設備 職場環境	20	校内の施設・設備の維持、学習環境の整備が適切に行われている。	3.2	3.0	3.2
	21	執務環境が整えられ、協力・協働意識のもと業務が行われている。	3.4	3.1	3.1

3.6以上/前年度比+0.3以上